

一日一章 みことばを聴こう

5月4日(火) マルコの福音書 第9章

- 1、山上の変貌の出来事の中で、イエスさまはどんなお方として示されていますか(特に8節)。イエスさまのみ業はどんな道を通じて完成されるのですか(9、12、31節)。
- 2、弟子たちの関心はどこにありましたか(34、38節)。キリストの弟子たる者はどこに心を向けるべきですか(7、37、39、41、42節)。
- 3、悪霊に打ち勝つ唯一の道はどこにありますか(オー・ハレスビー著『祈り』に「祈りとはイエス・キリストを心に迎え入れることだ」と定義されていることをよく考えてみましょう)。

5月5日(水) マルコの福音書 第10章

- 1、イエスさまは何のためにおいでになったのですか。そのこととあなたとはどんな関係がありますか。
- 1、幼子と17節以下の富める男との態度の違いはどこにありますか。あなたはどちらに近いのですか。
- 2、今日、主が特にあなたに語ってくださった御言は何ですか。

5月6日(木) マルコの福音書 第11章

- 1、イエスさまはどんなお方としてエルサレムに入られましたか(9、10節)。そこでまず何をされましたか(15、17節)。イエスさまはどんな力をもってそれをされたのでしょうか(14、20節)。
- 2、祭司長や長老たちの宗教的外観とその内実はどうでしたか。
- 3、あなたは、「主がお用なのです」と言われたとき、すぐ従う備えができていますか。

5月7日(金) マルコの福音書 第12章

- 1、イエスさまは人のうわべの行ないを見られるお方でしょうか、その心を見られるお方でしょうか(12、15、38、40、43、44節)。
- 2、ユダヤの指導者たちは何を一番気にしていたのでしょうか(12、14、38、40節)。
- 3、あなたが最も恐れているものは何ですか。

5月1日(土) マルコの福音書 第6章

- 1、イエスさまは、人々をどのようにに見(34節)、どのようにに彼らの必要にこたえられましたか(35、44、56節)。このイエスさまの生活を支えていたものは何でしたか(46節)。
- 2、イエスさまの郷里の人のつまずきは彼らが何を見ていたからですか(2、3、6節)。ヘロデの失敗は彼が何を第一にしたからですか(16、26節)。五千人の群衆が満腹したのはどれと共にいたからであり、湖上の弟子たちが平安を得たのはいつでしたか(51節)。
- 3、あなたの目は何に向いていますか。人間的要素ですか。目に見えない神の真実に焦点が合っているでしょうか。

5月2日(日) マルコの福音書 第7章

- 1、イエスさまが、耳が聞こえず、口のきけない人をいやされたとき、どのようにしていやされましたか。それを、私たちを罪の力から解放してください。くださったときのやり方とくらべてみましょう。
- 2、律法学者、パリサイ人の心のかたくなさと、ツロのギリシヤ人の女の心のかたくなさをくらべてみましょう。
- 3、あなたの心は柔らかく開かれていますか。かたくなに閉じこもっていませんか。

5月3日(月) マルコの福音書 第8章

- 1、イエスさまは、四千人の給食で何を見ておられましたか。パン一つしかなかった舟の上では何を心配しておられたのでしょうか。受難の予告とペテロに対する叱責の中では何を見つめておられたのでしょうか(33節)。
- 2、弟子たちは、四千人の給食のとき何を考えていましたか(4節)。舟の中ではどうでしたか(16節)。イエスさまの受難の予告を聞いたペテロはどうでしたか(33節)。
- 3、あなたの目の焦点はどこに合わせられていますか。

5月8日(土) マルコの福音書 第13章

- 1、主は終わりの日に、主の民のためにどんなことを用意して下さっていますか(11、20節)。偽キリストは何を手掛かりに人々を惑わしますか(6、7、22節)。
- 2、「気をつけなさい。」「目をさましていなさい。」という言に注意し、世の終わりにどう備えたらよいか考えて見ましょう。
- 3、あなたは、不安や恐怖心にとらわれて偽キリストのしるしや不思議に惑わされることなく、いつくるかわからない主の再臨を確信と平安をもって待ち望む備えができていますか。御言によって主を仰ぎ望みましょう。

5月9日(日) マルコの福音書 第14章

- 1、イエスさまの十字架への歩みは何によって決められていましたか。祭司長たちの計画によつてですか(2、55節)。聖書の預言とイエスさまの言によつてですか(16、18、27、30、36、49、62、72節)。
- 2、弟子たちは貧しい人に関心があったのですか。自分たちの施しに関心があったのでしょうか(5、7節)。イエスさまは現実にひとりの人を全人格的に愛することを喜ばれるのではないのでしょうか(6、8節)。
- 3、あなたは主にあつてだれかを本当に愛していますか。

5月10日(月) マルコの福音書 第15章

- 1、イエスさまはどんな立場で(26、27節)。人々からどのように扱われ(27、32節)、神さまからどうされて(34節)、死なれましたか。その死の結果どんなことが起こりましたか(38節)。
- 2、主を知らない人が「この方は神の子であつた。」と告白するようになったのも(39節)、人を恐れていた人が大胆に主につくようになったのも(43節)、何を見たことの変化でしょうか。
- 3、あなたは十字架を見る前の弟子たちでしょうか。十字架を見た後のクリスチャンでしょうか。

5月11日(火) マルコの福音書 第16章

- 1、イエスさまの墓の入口を塞いでいた大石はどうなりましたか。十字架につけられ、その墓の中に葬られていたイエスさまはどうされたのでしょうか。
- 2、弟子たちはイエスさまの復活のことを聞いたときどうしましたか(8、11、13、14節)。この不信仰な弟子たちにイエスさまはどうさされましたか(14、15、18節)。
- 3、あなたは復活の主とお会いしていますか。

5月12日(水) 申命記 第1章

- 1、主はイスラエルに伝えるべきことを伝えられた後、すぐ、何を命じられましたか(6、8節)。主は、主を信じない民をどうされましたか(34、35節)。それまで主はイスラエルをどのように守り導いてこられましたか(30、31、33節)。
- 2、主の民の重荷はだれがどのように負いましたか(9、17節)。主がその地を与えると約束されていたイスラエルが敵に追い散らされたのはなぜでしたか(41、45節)。彼らはいつ、どのように進むべきでしたか(7、8、21、30節)。
- 3、主は、今まであなたにたいしてどんな恵みを与えて下さいましたか。あなたは、御言を聞いたとき、すぐ、それに従う用意ができていますか。

5月13日(木) 申命記 第2章

- 1、主はイスラエルにたいし怒つたままでおられましたか(3節)。主はイスラエルにだけ恵みを与え他の人々を無視されるお方でしたか(5、9、19節)。主は一挙にバシヤンの地をイスラエルに与えられたのでしょうか(24、31節)。
- 2、主の民は他の人々の存在をどう見るべきですか(5、9、19節)。主が恵みを与えられたとき、主の民はどうするべきですか。懐手をしてじっとしていたら良いのですか(24、31節)。
- 3、あなたは、自分の内なる生まれつきの性質、肉と戦い、日々、それを占領しはじめていますか。

5月14日(金) 申命記 第3章

- 1、イスラエルに約束の地を与え、それを得させるために戦われたのはどなたですか(18、22節)。
- 2、ルベンとガドとマナセの半部族の人は、自分たちだけが安住の地を得て、他のイスラエル人が苦勞するのを見過しにしてよかったですか(18、20節)。カナンの地に入ることが禁じられたモーセにとって、何をすることができ、またそうしなければならなかったのですか(28節)。
- 3、あなたのために主は何をしてくださいましたか。あなたが今なすべきことは何ですか。

5月15日(土) 申命記 第4章

- 1、主は何のために、教えと戒めを与えられましたか(1、5、6、9、10、35、39、40節)。主はイスラエルをどうされ(34節)、呼び求める者にどう答えられますか(7節)。また主は不従順な者をどうされますか。それは何のためですか(25、31節)。
- 2、主の民は主の御言にたいしてどんな態度をとるべきですか(2節)。自分だけが御言を聞いていけばよいのですか(9、10、40節)。
- 3、あなたは日々御言に聴き従っていますか、自分の家族にはどのように御言を伝えていきますか。

5月16日(日) 申命記 第5章

- 1、主はだれと契約を結ばれるのですか(2、3節)。主は十戒を守れと命じられたとき、いつも何を思い出させられましたか(6、15節)。主は何のためにおきてと定めとを与えられたのでしょうか(29、33節)。
- 2、イスラエルはどんな動機で主の命令を守りましたか(25、27節)。
- 3、あなたは、いつも、主の恵みを覚えていますか。主の義しさを恐れていますか。

5月17日(月) 申命記 第6章

- 1、主の教えの中心は何ですか(4、5節)。主はイスラエルにとってどんな神ですか(12、15、21、22、23節)。
- 2、主の恵みを受けたイスラエルはどうすべきですか(3、17、18、25節)。その原動力はどこから来ますか(5、12、21、24節)。主のおきてと定めを守るときどんな結果を得ることが出来ますか(2、3、24、25節)。この主のおきてと定めは自分が知るだけだけののですか(2、7、20、25節)。
- 3、あなたは御言を悟ためにどんなことを心がけていますか。家族、特に子供に御言を伝えるためにどんなことにつとめていますか。

5月18日(火) 申命記 第7章

- 1、主はイスラエルにどんな恵みを与えられましたか(6、8、21節)。
- 2、主の聖なる民とされたイスラエルはどのような歩みをすべきでしたか(2章5節、11、17、24節)。
- 3、あなたは自分をどのような者と考えていますか(ローマ6章11節)。そういう者としてどのように生きるべきですか(ローマ6章12、13節、ガラテヤ5章16、24、25節)。

5月19日(水) 申命記 第8章

- 1、主がイスラエルを苦しめられたのは何のためでしたか(2、3節)。主が本当に与えたいのはどんな祝福ですか(7、16節)。
- 2、私たちは主の訓練を受けるとき、どう考えるべきですか(5節)。富につき、飢えにつき、何を覚えるべきですか(3、10節)。私たちの一番大切にすべき心の態度は何ですか(18節)。
- 3、あなたの心の中心にはいつも何が据えられていますか。

5月20日(木) 申命記 第9章

- 1、主は、なぜイスラエルにカナンの地を与えられたのでしょうか(3、5節)。イスラエルのために強大な先住民を追い出されるのはだれですか(3、4節)。主は、そむきにそむくイスラエルをなぜ滅ぼされなかったのですか(19、20節)。
- 2、イスラエルがいつも知り、覚えているべき二つのことは何と何ですか(3、4、5、6、7節)。
- 3、あなたは、いつも、主の恵みと自分の罪を覚えていきますか。

5月21日(金) 申命記 第10章

- 1、主はイスラエルのためのモーセのとりなしを聞いてどうされましたか(10節)。先にイスラエルに語られたみことばはどうされましたか(1〜4節)。なぜでしょうか。イスラエルにとって主はどんなお方のですか(14、15、17、21節)。
- 2、イスラエルは主にたいしてどのように歩むべきですか(12、13節)。どのようにしてそのような歩みに入りますか(16節)。
- 3、あなたにとって主はどんなお方ですか。主はあなたに今日、何を求めておられますか。

5月22日(土) 申命記 第11章

- 1、主はイスラエルのためにどのような配慮をしておられますか(12節)。主は御言に聴き従うイスラエルに何を約束されましたか(8、9、14、15、23、24、25、27節)。御言に従わない者に対してはどうですか(16、17、28節)。
- 2、イスラエルは主の命令を守り行うために、まず、何を思い起こすべきでしたか(2〜7節)。御言を心に刻みつけるためにどうすべきでしたか(18、19、20節)。
- 3、あなたは御言を心に刻みつけるためにどんなことをしていますか。

5月23日(日) 申命記 第12章

- 1、主にたいする礼拝は、自分でよいと思うやり方でよいのでしょうか(5、11、13、14、17、18、26節)。
- 2、主の賜わる恵みはどのように楽しむべきですか(7、12、18節)。お返しをしてくれる人を招くだけでよいのでしょうか(ルカ14章12〜14節)。
- 3、あなたは主の恵みを他の人々と共に喜び楽しんでいきますか。

5月24日(月) 申命記 第13章

- 1、主はイスラエルのために何をしてくださいましたか(5節)。その主はどのように重んじられるべきですか(3、4、18節)。
- 2、イスラエルは、主にたいする忠誠をくらませるものにたいしてはどんな態度をとるべきですか(3、5、8、9、15、16、17節)。
- 3、あなたにとって一番大切なお方はあなたですか。その方にたいする忠誠を危うくするものはどうしますか。たとえそれがあなたにとってどんなに大切なものであっても。

5月25日(火) 申命記 第14章

- 1、主はイスラエルにどんな身分を与えられましたか(1、2、21節)。
- 2、主のこども、主の聖なる民とされた者はどんな生活をすべきですか(1、3、21、22、26、28、29節)。
- 3、あなたは自分が何者であると自覚すべきですか(たとえば、ローマ6章11節、第一コリント6章19節)。そしてどのように歩むべきですか(ローマ6章12、13節、第一コリント6章20節)。

5月26日(水) 申命記 第15章

- 1、主はイスラエルをどこから、どのような状態から贖い出されたのですか(15節)。主は、主のご命令に従うイスラエルにどんな祝福を約束されましたか(4、6、10、18節)。
- 2、イスラエルは貧しい人々にたいしてどうすべきでしたか(1、7〜11節)。どうしてですか。奴隷にたいしてはどうすべきでしたか(1

- 2 (14節)。どうしてですか (15節)。牛や羊の初子を食べるときは、どこで、だれと、どのように食べるべきですか。なぜですか (19 (23節))。
- 3、今日、主があなたに語ってくださったことは何ですか。

5月27日 (木) 申命記 第16章

- 1、主はイスラエルにどんな恵みを与え (1、12節)。何を覚えていて欲しいと思っておられるのでしょうか (3、12節)。
- 2、イスラエルはどんな祭りを守るべきですか (16節)。何のためですか (3、12節)。その祭りはどこで守るべきですか (2、6、7、11、15、17節)。だれとともに祝うべきですか (11、14節)。
- 3、あなたは、いつも、決まったときに定まった場所です。礼拝を守り、グループの交わりをもつていますか。

5月28日 (金) 申命記 第17章

- 1、主はなぜ欠陥のあるいけにえを忌み嫌われるのですか (1節)。なぜ偶像礼拝者を石打ちにさせられるのですか (5、7節)。申命記6章4、5節を読んでみましょう。しかし主は偶像礼拝者のさばきについてどんな配慮を命じておられますか (4、6、7節)。
- 2、イスラエルの王はどのように選ばれましたか (15節)。イスラエルの王の歩みはどんなものでなければなりません (16、17節)。王が最も心がけるべきことは何でしたか (18、19節)。何のためでしたか (20節)。
- 3、あなたは、いつも御言聴従に励んでいますか。

5月29日 (土) 申命記 第18章

- 1、主は、主に仕えさせるために選ばれたレビ人どのように養われましたか (2、5節)。人は将来のことについて不安を持ちがちですが、主の民の歩みを主はどのように導かれるのでしょうか (15、18節)。

- 2、主の民は自分の生活が何によって支えられていることを知るべきですか (2節、申命記8章3節、マタイ4章4節参照)。主の民は、自分たちの歩みの指針として何に頼ってはならず (9 (11節))、何に聞き従うべきですか (15、18節)。
- 3、あなたは何を自分の生活の指針としていますか。

5月30日 (日) 申命記 第19章

- 1、イスラエルに約束の地を得させられるのはどんなでしたか (1節)。誤って人を殺した者のためにどんな備えを命じられましたか (3 (7節))。何のためでしたか (10節、ヨハネ3章16節参照)。ひとを傷つけたり損ねたりする人を主はどうされますか (11 (13)、14、19節)。主が望んでおられるのは何ですか (13、19、20節)。
- 2、主が与えられる地を現実には自分のものとするためにイスラエルは何をすべきでしたか (1節)。罪のない者の血が流されないうえ、またひとを傷つけ、また損なう罪を除き去るために、イスラエルは何をすべきでしたか。
- 3、あなたは、ひとを生かすことを求めていますか。ひとを犠牲にしても自分を富ますことを求めていますか。

5月31日 (月) 申命記 第20章

- 1、イスラエルに勝利を得させるのは馬ですか (武力)。イスラエルは何によって勝利を得るのでしょか (1節)。主はなぜ遠くの民とは講和を結ぶことを許されるのに (15節)、カナン先住民は聖絶するように命じられたのですか (16、18節)。
- 2、イスラエルは戦いに臨んでどんな人を戦いに連れて行かないように配慮すべきでしたか (5 (8節))。なぜですか (3、8節、第二テモテ2章4節)。
- 3、あなたは自分のことを全く思い煩わないで主のために仕える用意ができていますか。